

第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画

「食育の推進」の進捗状況について

「食育の推進」については、第3次推進計画に掲げている以下①～④の4つの視点

- ① 全ての市民の食育への理解の増進
- ② 健全な食生活が実践できる環境整備
- ③ 市民運動としての食育の推進
- ④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進 に基づいてさまざまな事業を展開した。

令和3年度（2021年度）の取り組み

① 全ての市民の食育への理解の増進（P2～6）

コロナ禍においても家庭における食育の推進のため、乳幼児健康診査や相談の場で、感染防止対策を講じたうえで、食生活の相談や不安解消に努めた。離乳食や大学生向けの食育講座は、一部オンラインでも開催し新しい生活様式での食育の推進に取り組んだ。また、成人向けの食生活の基本や、乳幼児向けの食育の進めについて、動画を制作・配信し市民の食育への理解を図った。

保育所や幼稚園等における体験型食育活動の取組は、感染対策を講じ野菜の栽培を中心とした食育が確実に実施された。

② 健全な食生活が実践できる環境整備（P7～11）

健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信では、栄養成分表示の啓発や、市民の野菜摂取量のアップに注力した。食品関連事業者が実施する食育活動を支援するため、野菜の取組については、174の食品関連事業者と協働で店舗でのポスター掲示やレシピ集の配置等を行った。

地域の食のボランティアである食生活改善推進員の養成講座は、感染拡大状況を注視しながら対面形式や自己学習のレポート提出など、各区実施方法を工夫しながら開催した。

③ 市民運動としての食育の推進（P12～16）

食育月間や食育の日を含めた食育を広く啓発するため、「くまもとの食」ホームページや市政だより、ラジオ、SNS等を活用し、食育に関する全市的な広報、啓発に力を入れた。食育の機運を醸成するため関係機関や団体と協働で開催していた各種イベントについては感染拡大を防止するため中止となった。消費者に熊本の農産物の魅力に触れていただく農産物フェアは、オンラインで販売フェアを開催した。

地域で食育推進のボランティア活動を行う、食生活改善推進員の活動の場などの減少が課題である。

また、子どもの食育推進ネットワークの活動は、コロナ禍で保育所等と団体等が連携活動した割合は令和2、3年度と低下したが、加入団体数も30団体増加しオンラインやYouTube配信を通して資質の向上を図った。

④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進（P17～20）

生産者との交流等については感染拡大を防止するため、ほとんどが中止や事業終了となっており、農林漁業体験を通じた食育活動の低下が懸念される。外食需要の低迷による地元農畜水産物の消費低下及び持続可能な食文化の推進のため、学校給食や保育所給食への地元農畜産物の積極的導入を行い、地産地消の推進に努めた。

令和4年度（2022年度）の重点的に行う取り組み

・新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、「新たな日常」に対応した非接触型の食育の推進に取り組む。デジタル技術を有効活用しての市民への食に関する情報提供に努め、コロナ禍、アフターコロナを家庭での食生活を見つめなおす機会とらえる。乳幼児期からの家庭での共食及び体験型食育の重要性について、子どもの食育推進ネットワークを活用し、周知と啓発を図る。

・食生活改善推進員の活動等についてSNS等を通して周知を図り、その認知度と活動の場を広げる。

・市民が自然に健康になれる持続可能な食環境づくりのために、食品関連事業者と協働で減塩や野菜摂取量の増量に向けての情報発信や取組の強化を図る。

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

施策の方向性		(1)家庭における食育の推進	H30	R1	R2	R3	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合	77.1%	-	-	-	90%
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	-	-	-	現状維持
取り組むべき施策		1) 「食卓」の重要性についての啓発					
		2) 食を楽しむことについての啓発					
		3) 男女共同参画による食育の推進					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	アクセス数 3,349,213件	アクセス数 10,625,221件	アクセス数 13,407,737件	・サイト内で、食事に関するQ & Aを14項目掲載	継続実施	子ども政策課
2	乳幼児パパママ教室	保育所、幼稚園、子育てグループ等へ講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	実施	派遣回数 3回	実施なし	派遣回数 1回	・城南児童館母親クラブに栄養士を派遣 ・コロナ感染拡大で2件は中止	継続実施	子ども支援課
3	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	実施	79回 624人	20回 92人	35回 184人	・育児サークル、子育て支援センター等で、離乳食の進め方について講話を実施 ・離乳食教室は、各区で開催。オンラインやハイブリッド形式でも開催	継続実施	各区保健子ども課
4	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	実施	19回 179人	6回 23人	12回 41人	・育児サークルで幼児期の食生活について講話を実施	継続実施	各区保健子ども課
5	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	参加者数 3,161人	参加者数 4,138人	参加人数 580人	参加人数 539人	・毎週定例の育児相談日は新型コロナウイルス感染症の影響により開設なし ・電話相談や来所相談を実施	継続実施	各区保健子ども課
6	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加者数 3,293人	参加者数 3,055人	参加人数 2,566人	参加人数 2,337人	・親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	継続実施	各区保健子ども課
7	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.6%	受診率 98.68%	受診率 99.0%	受診率 98.8%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課
8	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 100%	該当者なし	該当者なし	・健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施。3年度は、栄養指導フォローの該当者なし	100%	子ども政策課 各区保健子ども課
9	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	受診率 99.15%	受診率 98.9%	受診率 97.7%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課
10	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 96.0%	受診率 96.74%	受診率 97.7%	受診率 97.2%	・委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	100%	子ども政策課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
11	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 95.38%	フォロー率 81.3%	フォロー率 100%	・健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	100%	各区保健子ども課
12	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.0%	受診率 97.74%	受診率 96.1%	受診率 97.3%	・健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施 ・各区、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ実施	100%	子ども政策課
13	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.1%	受診率 96.87%	受診率 96.8%	受診率 96.3%	・健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施 ・各区、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ実施	100%	子ども政策課
14	乳幼児経過観察健診	子どもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 72.2%	受診率 75.3%	受診率 85.7%	受診率 78.9%	・子どもの発育・発達状況に応じた指導を実施 ・各区、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ実施	100%	子ども政策課
15	保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ	実施	年間5回程度	実施なし	実施なし	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし	継続実施	子ども支援課 子育て支援センター
16	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施 (評価指数:肥満度20%以上の児童の割合)	小学生 7.7% 中学生 8.0%	小学生 8.2% 中学生 8.6%	小学生 10.4% 中学生 10.9%	小学生 9.0% 中学生 9.6%	・肥満度20%以上の小学4年生を対象に小児生活習慣病予防検診を実施し、保護者への指導を行った	減少	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●特定保健指導における食育の推進:特定保健指導実施者及び実施率 ⇒ 被保険者11,239人、実施率31.19% 被扶養者210人、実施率14.02% 合計11,449人、30.5% ※働き世代の食の課題として、早食い、夜遅い食事、不規則な食生活(交代勤務等の影響)、外食や購入弁当による偏食等がある。対象者に応じた食事指導を行っている	全国健康保険協会熊本支部
2	●特定健康診査・後期高齢者健診の受診者を対象に、食習慣改善等の支援を実施:①特定保健指導(積極的支援及び動機付け支援)約100件 ②健康相談・栄養指導 約10件(電話) ③「健診結果を改善するための情報提供資料を健診結果に同封。特定健診・後期高齢者健診受診者全員	(公財)熊本県総合保健センター
3	●事業所を対象に、体調改善・健康維持を目指し、食事のリズムや内容についてのセミナーや指導を実施:①特定保健指導(積極的支援及び動機付け支援)約1200件 ②健診事後指導 約130件 ③セミナー 3事業所(脂質異常症について・健診結果と食生活など) ④「健診結果を改善するための生活習慣」をテーマとした情報提供資料を健診結果に同封	(公財)熊本県総合保健センター

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

*H29年実績値

施策の方向性	(2)生涯にわたる食育の推進	H30	R1	R2	R3	R5	
		基準値	実績値	実績値	実績値	目標値	
検証指標項目	③ 1週間あたりの朝食について ※幼児は「毎日食べる割合」、 他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	97.3%	-	-	-	100%
		小学5年生	1.7%	-	-	-	0%
		中学2年生	4.2%	-	-	-	0%
		若い世代【20,30歳代】	18.5%	-	-	-	10%以下
		65歳以上	3.4%	-	-	-	0%
	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	86.6%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	100%	
	⑥ 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		*94.0%	97.0%	調査実施なし	調査実施なし	100%
⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)		*20件	47件	4件	7件	30件	
取り組むべき施策	4) 子どもの頃からの体験を通じた食育						
	5) 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進						
	6) 若い世代や働きざかりに対する食育の推進						
	7) 高齢者に対する食育の推進						
	8) 給食を活用した食育の推進						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 93.0%	実施率 公立100% 私立90.2%	実施率 公立100% 私立88.6%	実施率 公立100% 私立86.6%	・園での栽培、収穫体験や収穫物を使用した給食提供 ・11月24日「和食の日」に、だしの飲み比べや鯉節削り体験等を実施	100%	保育幼稚園課
2	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心を高め、食について親子での会話を促す	実施率 76.5%	実施率 公立100% 私立75.6%	実施率 公立100% 私立76.1%	実施率 公立100% 私立79.4%	・実物の展示食を用いて、必要量や形態等を啓発 ・おやつ等の展示による、内容や補食量の啓発	85%	保育幼稚園課
3	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 93.4%	実施率 公立100% 私立92.7%	実施率 公立100% 私立93.9%	実施率 公立100% 私立96.4%	・「熊本市保育所食育推進年間計画」に基づき、月ごとの食育目標に沿った内容で情報を発信	100%	保育幼稚園課
4	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 79.3%	実施率 公立100% 私立74.8%	実施率 公立中止 私立32.0%	実施率 公立中止 私立27.5%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	85%	保育幼稚園課
5	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	4回 135人	・災害に備えて食糧備蓄やローリングストック法、パックスクッキング等について情報提供 ・オンラインでも開催	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
6	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	3回 117人	・事業所や区役所職員を対象に生活習慣病予防のための食生活についての講話を実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
7	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	実施	32回 586人	4回 68人	5回 75人	・高齢者サロンの参加者に対して、フレイル予防について講話を実施	継続実施	各区保健子ども課
8	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 (※R2からは、「啓発パンフレットの作成と配付」を除く)	実施回数 1,249回	実施回数 1,662回	実施回数 356回	実施回数 298回	・高齢者サロンやくまもと元気くらぶを対象にフレイル予防のための健康教育等を実施	継続実施	高齢福祉課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
9	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	実施	実施	実施	・「食育の日～ひごまるデー～」を中心に、市産品を活用した給食献立を実施	継続実施	健康教育課
10	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合100%	発行校の割合100%	発行校の割合100%	発行校の割合100%	・たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	継続実施	健康教育課
11	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	実施	配布数7,144枚	配布数7,119枚	配布数6,848枚	・就学時健康診断時に生活習慣改善啓発パンフレットを保護者へ配布し、啓発を実施	継続実施	健康教育課
12	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	実施	健康手帳使用者数2,056人	健康手帳使用者数2,081人	健康手帳使用者数1,626人	・肥満傾向の児童生徒を対象に健康手帳を配布し、保護者に対し手帳を活用した生活習慣の改善を図った	継続実施	健康教育課
13	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	実施	応募数1,237点	実施なし	応募数976点	・給食に関する作文や図画、ポスター、毛筆書写及び給食献立の作品を募集し、優秀な作品を展示した	継続実施	健康教育課
	●検証指標	【公立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100%(19/19)	100%(19/19)	100%(19/19)	・園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供 ・11月24日「和食の日」に、だしの飲み比べや鰹節削り体験等を実施	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【私立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	87.20%	90.2%(222/246)	88.6%(218/246)	86.6%(214/247)	・園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【公立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100%(6/6)	100%(6/6)	100%(6/6)	・野菜・果実の栽培、収穫を行った。コロナ禍のため、園内での調理や実食はせず、家庭に持ち帰って親子で味わってもらった。また、昼食中の指導を通して作っている方への感謝の気持ちなどを育んだ	100%	教育政策課
	●検証指標	【私立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100%(22/22)	100%(22/22)	100%(21/21)	・園での栽培・収穫体験等の食育活動の実施 ・はやね・はやおき・あさごはんカードを使っての生活リズムや朝食習慣定着に向けての取組	100%	健康づくり推進課
	●検証指標	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	94.0%	97.0%	調査実施なし	調査実施なし	・調査実施なし	100%	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●電話および面接による食事のとり方を中心とした栄養相談(事業所):電話3人、面接1人	熊本県栄養士会
2	●自立支援型地域ケア会議への参加。400件	熊本県栄養士会
3	●短期集中予防サービス(栄養改善プログラム)による訪問栄養指導:対象者12人、回数32回	熊本県栄養士会
4	●高齢者健口講座:いつまでも楽しく安全な食生活を目指すために、高齢者対象の「お口の健康講座」を開催:3回106人	熊本県歯科衛生士会

	取組状況	関係機関・団体名
5	<ul style="list-style-type: none"> ●子どものむし歯予防に関する普及啓発:作成した「子どものむし歯予防4つのポイント！」(動画QRコードあり)を推進会議団体に配付依頼。子どものむし歯予防に関する普及、啓発を実施。5団体1,330枚 	熊本県歯科衛生士会
6	<ul style="list-style-type: none"> ●若者世代対象_生活習慣病予防のためのスキルアップ事業:27人参加 ・中央高校の生徒を対象に、食事バランスプレートを使用し、バランスのとれた食事の習慣化や、汁物の食塩濃度の測定法等を伝授し、減塩の必要性の啓発を実施 	熊本市食生活改善推進員協議会
7	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢世代対象_生活習慣病予防のためのスキルアップ事業:20人参加(内、10人は個別訪問で実施) ・講習会や個別訪問により、自宅に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対して、低栄養やフレイル予防について資料を配付し説明を実施 	熊本市食生活改善推進員協議会
8	<ul style="list-style-type: none"> ●100円朝食:朝食利用件数3,380件 ・前年度に引き続き朝食の大切さを知ってもらうために実施。学生に負担がかからないように、大学が150円を補助し、学生は100円で朝食がとれる 	崇城大学
9	<ul style="list-style-type: none"> ●料理教室「魚のさばき方」の開催:2回、16人参加 ・消費拡大、食育の推進を目的として、野菜や魚を使った料理教室を開催 	㈱熊本地方卸売市場

II 健全な食生活を実践するための環境整備

*H29実績値

施策の方向性	(1)健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	H30	R1	R2	R3	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)【再掲】	*20件	47件	4件	7件	30件
	⑧ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合	76.1%	-	-	-	85%
	若い世代【20,30歳代】	64.0%	-	-	-	75%
	⑨ 栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	63.4%	-	-	-	80%
⑩	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に	34.3%	-	-	-	50%
	気をつけた食生活を実践している市民の割合	22.5%	-	-	-	25%
取り組むべき施策	9) 「食事バランスガイド」「食育ガイド」等を活用した食生活の実践への支援					
	10) 生活習慣病予防等についての啓発					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き講話や実習等を行う	15回	37回	20回	19回	・地域、学校等の要請に応じて、市及び関係行政機関等の職員が、講師として現地へ出向いて講話や実習等を行った	継続実施	生涯学習課
2	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 51,359人	累計 53,097人	累計 53,303人	累計 53,752人	・例年全92校区で実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により半分の46校区で実施 ・参加人数を20人から10人に縮小して実施	60,559人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	実施	啓発数 1,559人	啓発数 1,844人	啓発数 1,500人	・食生活改善推進員の養成講座や健康教育の場で、チラシを用いて啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176人	啓発数 11,690人	・乳幼児健診の保護者へ、市統一の栄養成分表示チラシを用いて、栄養成分表示の活用方法について啓発(参考資料)	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	健康教育(40~64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加者数 7,520人	参加者数 9,253人	参加者数 2,494人	参加者数 2,220人	・糖尿病予防教室や骨粗しょう症予防教室等の健康教育を実施	継続実施	各区保健子ども課
6	健康相談(40~64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加者数 4,037人	参加者数 2,962人	参加者 3,401人	参加者 741人	・生活習慣病の予防や健康増進を目的に、個人の生活習慣や食習慣に応じた食生活についての助言を実施	継続実施	各区保健子ども課
7	●検証指標【再掲 I-(2)】 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	4回 135人	・災害に備えて食糧備蓄やローリングストック法、バッククッキング等について情報提供 ・オンラインでも開催	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
8	●検証指標【再掲 I-(2)】 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	3回 117人	・事業所や区役所職員を対象に生活習慣病予防のための食生活についての講話を実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●すこやか食生活改善講習会:46校区、449人参加 ・地域住民を集めて、骨粗しょう症予防をテーマに健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催 	熊本市食生活改善推進員協議会
2	<ul style="list-style-type: none"> ●学生対象特定保健指導(PUK'Sダイエットチャレンジ):8月～2月、5人参加 ・本学健康診断でBMI30以上で希望する学生を対象に生活習慣改善プログラムを実施 	熊本県立大学

II 健全な食生活を実践するための環境整備

*H29実績値

施策の方向性		(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	H30	R1	R2	R3	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育の推進に関するボランティア数	*1,536人	1,685人	1,757人	1,792人	1,850人
取り組むべき施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と活用の促進 12) 食生活改善推進員等、地域支援者の育成						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 40人	受入数 39人	受入数 0人	受入数 34人	・区役所保健子ども課の栄養業務説明を半日実施	継続実施	各区保健子ども課
2		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 43人	受入数 41人	受入数 46人	受入数 51人	・実習生が学校給食における課題発見、解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	継続実施	健康教育課
3	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 7人	受入数 1人	受入数 7人	受入数 8人	・主に、小学校において、県外大学から3名、県内大学5名を受け入れた	継続実施	指導課 健康教育課
4	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	開催数 2回	開催数 0回	開催数 0回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし	2回	食品保健課
5	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者数 202人	参加者数 198人	中止	参加者 141人	・学校における食育の推進、ICTを活用した食に関する指導の工夫及びコロナ禍における給食時間の食に関する指導について研修を行った	継続実施	健康教育課
6	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者数 67人	参加者数 66人	参加者数 67人	参加者数 64人	・摂食、嚥下に困難を有する児童生徒の食事指導について研修を行った	継続実施	健康教育課
7	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る	1回 81人	1回 63人	動画視聴数 274回	実施なし	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし	継続実施	健康づくり推進課
8	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 72人	養成数 49人	養成数 34人	養成数 42人	・食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成 ・コロナ禍により書面研修やレポート提出を併用して実施	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	53回 2,001人	55回 2,110人	33回 3,771人	39回 2,224人	・ボランティア活動のための知識と技術を習得するため、対面と書面を併用して研修会を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	年間 2,637人	・役員会、電話や来所による相談により助言等を行い、ボランティア活動を支援	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
11	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 79人	養成数 74人	養成数 100人	養成数 73人	・各区保健子ども課において育成講座を実施 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面での受講も可能とした	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	食育の推進に関するボランティア数	1,536人	1,685人	1,757人	1,792人	・令和3年度食生活改善推進員協議会会員数554人 ・8020推進員育成数(累計)1,238人	1,850人	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●公開講座の開催:リハ栄養～多職種連携だからできること～:会場参加37人、Web参加28人	熊本県栄養士会
2	●関係機関等からの食育に関する情報や研修会案内の配付及び研修会への参加を、加盟園へ促した	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
3	●キャリアアップ研修:食育、食物アレルギー対応に関する研修会の開催 ⇒ 3回、54人修了	熊本市保育園連盟
4	●食生活改善推進員養成講座への支援:5区保健子ども課へ協力 ・食生活改善推進員の養成講座の中で、受講生に対して活動についての講話をしたり、交流会に参加し、食のボランティア養成に協力した	熊本市食生活改善推進員協議会
5	●食生活改善推進員活動のPR:6人参加 ・TKUの番組、「市ととるねマナブくん」へ出演し、ボランティア活動について紹介し、活動を市民へPRした	熊本市食生活改善推進員協議会
6	●食生活改善推進員としての自己学習:10,826回 ・食に関するボランティアとして身に付けることが必要な各種知識について、研修会の参加等で自己研鑽を行った	熊本市食生活改善推進員協議会
7	●本学の食育の取組について学会発表	熊本県立大学
8	●たべらボランチミーティング:全15回開催 ・食育を主体的に実施する学部横断的グループ「たべらボ」メンバーを対象に、熊本の食の魅力探しワークショップ等を行う。リスクレベル5の間はオンラインで実施	熊本県立大学
9	●くまもと食育ガイドブックを使用した講義の実施:10月～1月、約70人参加	熊本県立大学
10	●もぐ丸かんたん料理コンテスト:7月に、SNS(Twitter、Instagram)上による15分以内でできる野菜料理を使った料理コンテストを開催	熊本県立大学
11	●尚絅ガールズレシピコンテスト:豆腐を使ってオリジナル料理(主食あるいは主菜)+1品(サラダ、スープなど)、材料費250円、調理時間60分以内で募集(8～10月)⇒応募総数254点、優秀作品5品を11～12月に学食で提供	尚絅大学・尚絅大学短期大学部
12	●尚絅食育推進シンポジウム:テーマ「食物アレルギー対応と食育～みんなが楽しめる給食を目指して～」、県内保育施設、学校及び行政関係者約100人参加 ・基調講演、研究報告、事例発表をハイブリッド方式で実施。	尚絅大学・尚絅大学短期大学部
13	●調理に関する講義:11回開催 ・若い世代に対して、食の歴史と食が体へもたらす重要性について講義を行った	熊本県調理師会

II 健全な食生活を実践するための環境整備

施策の方向性		(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進	H30	R1	R2	R3	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑫	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	219店舗	219店舗	250店舗
取り組むべき施策	13) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進						
	14) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進						
	15) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進						
	16) 事業者から発信する食育						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	実施	支援業者数 10件	支援業者数 6件	支援業者数 174件	・野菜摂取量アップのための市統一ポスターの掲示及び野菜レンピの店舗への配置等の啓発支援を行った(参考資料)	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	食品関連事業者向け研修会の開催	食品関連事業者が、食育を推進するための情報や知識を得るための研修会の開催	実施なし	1回 103人	実施なし	実施なし	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施なし	実施	健康づくり推進課
3	【再掲Ⅱ-(1)】栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176	啓発数 11,690人	・乳幼児健診の保護者へ、市統一の栄養成分表示チラシを用いて、栄養成分表示の活用方法について啓発	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	実施	実施	実施	実施	・事業者からの問い合わせに対して随時技術的支援を実施	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	219店舗	219店舗	・「健康づくりできます店」への新たな登録なし	250店舗	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●牛乳飲用消費拡大事業:8人参加 ・牛乳消費拡大のため、牛乳・乳製品を使った料理講習会とアンケート調査を行った	熊本市食生活改善推進員協議会
2	●ベジチャージ@学食キャンペーン:4~2月実施 ・学生食堂で販売される弁当に無料で野菜入りスープをつけて提供	熊本県立大学

III 市民運動としての食育の展開

施策の方向性		(1) 市民協働による食育運動の展開	H30	R1	R2	R3	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合【再掲】	77.1%	-	-	-	90%
取り組むべき施策	17) 食育に関する機運の醸成						
	18) 関係団体と連携した食育運動の展開						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	実施	実施	実施	・啓発チラシや、ホームページ、ラジオ、LINE等で食育月間について啓発 ・市役所1階ロビーや区役所において、食育月間のパネル展示やレシピの配付等を実施 ・毎月「食育の日副菜レシピ」をLINEに掲載し、啓発を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者数 9,359人	ブース 来場者数 834人	中止	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	継続実施	健康づくり推進課
3	農産物フェア	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出	実施	実施	実施	実施	・消費者に熊本の農産物の魅力に触れていただくため、対面及びオンラインでの農産物販売フェアを開催した(開催期間 対面:R3.11.3,4及び9、オンライン:R3.4.2~6.30)	継続実施	農水ブランド戦略室 各農業進振興課
4	ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 97,299人	HPアクセス数 93,859人	HPアクセス数 108,619人	HPアクセス数 127,543人	・食の安全安心の確保と、食育の推進について情報提供を実施(参考資料)	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	7回	34回	140回	147回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面での情報提供等が制約を受けたため、市政だより、ホームページ、テレビ、ラジオ、YouTubeやLINE等を活用し、啓発に力を入れた	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診、性感染症等について啓発	実施	啓発数 458人	中止	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、食育や歯科、がん及び性感染症の啓発イベントは中止	継続実施	健康づくり推進課 感染症対策課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民を対象にした食育に関する啓発	実施	参加者数 113人	中止	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、セミナーは中止	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲Ⅱ-(2)】食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	年間 2,637人	・役員会、電話や来所による相談により助言等を行い、活動を支援	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 45,049件	活動件数 42,838件	活動件数 7,547件	活動件数 9,749件	・対面での活動が難しい状況であり、レシピ配布や短時間での個別訪問を中心とした活動を実施	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 969件	支援件数 892件	支援件数 260件	支援件数 379件	・新型コロナウイルス感染症の影響もあるものの、可能な範囲で活動を行う会に対し、フッ化物洗口支援や会議開催等の支援を実施	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●はあもにいフェスタ2021:ブース展示、栄養相談の実施。22名参加	熊本県栄養士会
2	●食育推進のための講演会の開催:テーマ「今こそ、笑顔がいちばん!～かんたん家庭食で元気に～」、講師 長船なお美氏 西里小PTA参加者、対面11名、オンライン100名。 ・各家庭の食生活を書き出すワークショップもあり、熊本弁丸出しの親しみ一杯で、軽快な展開の講演会だった	熊本市PTA協議会
3	●「食育の日」毎月1回、熊本県の食材を使用し、学生が考えたメニューを学食で提供。毎月60～150食提供	熊本県立大学
4	●食育に関する図書館展示:年4回実施 ・季節ごとにテーマを決め、図書館に食育コーナーを設置	熊本県立大学
5	●食育・健康フェスティバル公開講演会:講師 (株)ビストロパパ代表取締役 滝村雅晴氏、演題 「トモシヨク(共食)は有限。食べることは生きること～」、68人参加	熊本県立大学

III 市民運動としての食育の展開

*H29年実績値

施策の方向性	(2) 食育支援団体のネットワークの整備	H30	R1	R2	R3	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑬ 「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	* 62.6%	保育所等52.4% 支援団体80.0%	23.3%	26.6%	70%
取り組むべき 施策	19) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 4回	開催数 2回	開催数 2回	開催数 2回	・食の安全安心・食育部会はハイブリッド開催 ・健康くまもと21推進会議は書面開催	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
2	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開	加入団体数 394団体	加入団体数 400団体	加入団体数 393団体	加入団体数 423団体	・認可外保育施設を中心に未加入園に加入案内を行い、令和2年度より、30団体増加した。	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	参加者数 181人	コロナのため中止	動画視聴数 645回	参加者数 229施設 449人 動画視聴数 338回	・「発達障害児の特徴と食の支援・かかわりについて」の演題で、講演会をオンラインで開催。従来の研修会より多くの参加があった ・2回目の研修会は、2つの講話をYouTubeで配信	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	参加者数 626人	24回 538人	6回 512人	9回 847人	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面での情報提供や意見の集約等を実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	● 検証指標	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	62.6%	保育所等 52.4% 支援団体 80.0%	23.3%	26.6%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、園への外部の立ち入り等が制限され、連携活動した団体の割合が低下している	70%	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	● 子どもの食育推進ネットワークに登録し、代表者、実務者会議に出席した。出席者が、会議や部会等で報告することで各委員の「食」に対する意識や理解を深めるよう努めた	熊本市民生委員児童委員協議会
2	● 尚綱乳幼児食育研究会の開催: 事例発表、レシピ交換、協議等を年4回実施 ・乳幼児の食に関する課題や保育現場での食育活動、給食管理(食物アレルギー対応、衛生管理等)の課題を解決していくために、県内の保育所等の関係者(主に給食担当者)が集まって、研修を行う	尚綱大学・尚綱大学短期大学部

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

*H29年実績値

施策の方向性	(3) 地域における食育の展開	H30	R1	R2	R3	R5	
		基準値	実績値	実績値	実績値	目標値	
検証指標項目	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	86.6%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	100%	
⑭	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	708箇所	776箇所	
取り組むべき施策	20) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	介護予防事業	【短期集中予防サービス】 栄養状態、運動及び口腔機能低下者を早期に発見し、悪化防止のための指導を実施	R1.10より 実施予定	実施件数 12回	実施件数 31回	実施件数 72回	・低栄養や虚弱の恐れがある高齢者に対し、訪問での栄養指導を実施	継続実施	高齢福祉課 各区福祉課
2	子ども食堂への支援	子ども食堂の開設及び運営に対する助成を実施することで、子どもたちの居場所づくり等を支援	新規	29か所で実施 開催数は未把握	39か所で実施 開催数は未把握	48か所で実施(R4.3.31現在)開催 回数は未把握	・運営や開設にかかる費用を助成した。また、企業や市民の方からの食材等の寄付やボランティアの繋ぎを行った	継続実施	子ども政策課
3	保育園児と地域住民との交流会	団子汁会や芋煮会など郷土食の継承とともに、食を通じた繋がりを作る	実施	実施	中止	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	継続実施	保育幼稚園課
4	幼児期の共食の重要性の啓発	1歳6か月児健康診査等において、共食についての啓発資料の配布	R1.10より 実施予定	啓発数 1,660人	啓発数 6,879人	啓発数 5,662人	・1歳6か月児健康診査において、共食についての資料を配布し、コロナ禍において家庭での共食の重要性について周知	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	子どもだけで食事することが「ほとんどない」家庭の増加	3歳児健康診査受診前質問票で、「ほとんどない」との回答者を増加	85.2%	85.4%	86.4%	84.4%	・今年度は「ほとんどない」の回答が低下した。コロナ禍において施設では黙食指導が定着しており、家庭の食卓においても共食が減少しているものと思われる	88.0%	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	708箇所	・住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	776箇所	高齢福祉課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●子ども食堂への支援:13回、延べ68団体 ・部員の畑5か所に年間9種類(じゃがいも、大根等)の野菜を栽培し、13回子ども食堂に支援を行った	熊本市農業協同組合
2	●おやこの食育教室:親子20組を訪問 ・黒髪校区の親子を対象に、食育ランチョンマットを使用し主食・主菜・副菜を揃えることの大切について個別訪問で伝えた	熊本市食生活改善推進員協議会
3	●男性のための料理教室:13人参加 ・桜井校区の男性を対象に、バランスの良い食事をテーマにした調理実習を行った	熊本市食生活改善推進員協議会
4	●やさしい在宅介護食教室:19人参加 ・やさしい在宅介護食教室のテキストを使用し、家庭でできる介護食の学習を行った	熊本市食生活改善推進員協議会
5	●子どもの健康・食生活の支援活動:684回1,012人 ・子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ3種を配付し、作り方、幼児にとってのおやつ目的、おやつ適切な量や食べ方についての講話を行った	熊本市食生活改善推進員協議会

	取組状況	関係機関・団体名
6	<ul style="list-style-type: none"> ●若者・働き世代の健康・食生活の支援活動:1,062回2,015人 ・若者や働き世代に対して、若い頃からの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施 	熊本市食生活改善推進員協議会
7	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の健康・食生活の支援活動:2,381回4,832人 ・高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活や日常生活についての講話を実施 	熊本市食生活改善推進員協議会
8	<ul style="list-style-type: none"> ●各校区の子育てサークルに参加した親子へ手作りおやつレシピ等を配布し、地域への情報提供・PRを行った 	熊本市民生委員児童委員協議会
9	<ul style="list-style-type: none"> ●食育劇の撮影 ・「はやね・はやおき・あさごはん」の食育劇の撮影を、北区保健子ども課と協同で実施 	熊本市民生委員児童委員協議会
10	<ul style="list-style-type: none"> ●保育園給食改善事業:4月～3月 ・百貨店の事業所内保育施設における給食改善と食育の実施 	熊本県立大学
11	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園での焼きたてパン試食体験 ・熊本県産の食材を主に活用して、幼稚園児にパンを提供した。原材料について簡単な説明後、園児が試食を行った ・園児よりお礼のメッセージをいただき、パティシエを目指す学生にとって良い機会となった 	学校法人常盤学園シェフパティシエ学院
12	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てサークルや保育園、小中学校、地域イベント等における歯と口の健康づくり啓発:7回 ・むし歯や歯周病予防の観点から、規則正しい食生活やよく噛むこと(噛ミング30)の効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図っている 	熊本市8020健康づくりの会
13	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者サロンや老人会でのお口の体操:64回 ・高齢者サロンや老人会などにおいて、おいしく食べるためのお口の体操などの情報提供を実施 	熊本市8020健康づくりの会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(1)生産者と消費者の交流促進	H30	R1	R2	R3	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑮	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	-	-	-	50%
取り組むべき施策	21) 生産者と消費者の交流会の開催 22) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	実施	開催数 9回	中止	中止	・新型コロナウイルス感染症の影響で交流会が中止となった	継続実施	健康教育課
2	食農体験事業	収穫、調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る	実施	実施	事業終了			継続実施 ⇒R1で終了	農水ブランド戦略室
3	すこやか交流広場管理運営事業	子ども農園の貸付や植え付け祭、収穫祭等のイベントを開催し、世代間交流を促進	農園利用率 76%	農園利用率 76%	農園利用率 66%	農園利用率 70%	・子どもふれあい農園や多目的広場の貸付及びすこやか交流広場の管理業務	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	・各学校の実態に応じて農業体験や栽培活動、緑化活動等を推進	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	市民と漁業者との交流を通じ、水産業の紹介、漁業体験活動等を推進	参加者数 75人	参加者数 78人	事業終了			継続実施 ⇒R1で終了	水産振興センター

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●伝統野菜の継承やお米の大切さを伝えることを目的とした、栽培から収穫までの巡回指導 ・保育園1園:人参、大根の種まき、土づくり指導 ・小学校3校:米⇒播種、田植え、稲刈り 春日ぼうぶら⇒定植指導、贈呈	熊本市農業協同組合
2	●尚綱食育の日お魚の日:天草地区漁業士会と連携した食育イベント ・天草さくら鯛を使った鯛めしとアオサ汁の提供、天草の魚や漁業士会の活動をPRするポスターの掲示 ・天草の郷土料理や魚介類に関するアンケートの実施	尚綱大学・尚綱短期大学部
3	●くだものフェスタ ・熊本県果樹生産振興対策本部と連携し、果物の見直しと食生活への定着を目的に、県産果物の周知活動を行った ・県産みかんの試食と糖度測定、果物クイズ、パネル展示及びアンケートを実施	尚綱大学・尚綱短期大学部
4	●おさかな料理教室:施設、学校3か所で5回の実施 ・魚介類の消費拡大を図り魚食普及活動を推進することを目的に、お魚料理教室や、シーフード料理コンクールの周知を行った ・熊本県魚食普及推進協議会において団体・行政等が一体となって魚介類の消費拡大を図った	熊本県漁業組合連合会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

*H29年実績値

施策の方向性	(2) 地産地消の促進	H30	R1	R2	R3	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑯ 進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	-	-	-	80%
	⑰ 市内における農産物直売所の販売額	*2,936百万円	2,962百万円	3,125百万円	3,292百万円	3,339百万円
	⑱ 学校給食における地元農産物の使用割合	*38.2%	40.7%	38.5%	40.5%	43%
取り組むべき施策	23) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進					
	24) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	熊本に因むストーリーが展開できる野菜を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る	啓発活動の実施	実施	実施	実施	・市ホームページにおいて、ひご野菜の紹介や、取材依頼等に対し生産者の紹介などを行った	継続実施	農水ブランド戦略室
2	農産物直売所支援	直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培の取組や合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る	直売所数 17箇所	直売所数 21箇所	直売所数 21箇所	直売所数 20箇所	・各種イベント等の情報提供や、市ホームページにおいて直売所の通販サイト等を紹介	増加	農水ブランド戦略室
3	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	農水局フェイスブックや市ツイッターを活用し、熊本市の農水産物について情報を発信	実施	閲覧数 320,339回	閲覧数 318,451回	閲覧数 235,909回	・農水局公式Facebookページを継続運用し、市ツイッター等も活用しながら本市の農水産業や農水産物に関する情報を発信	継続実施	農業政策課
4	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	実施	開催数 8回	中止	開催数 4回	・熊本市内4箇所の生産地を視察し、生産者との情報交換を行った	継続実施	健康教育課
5	● 検証指標 給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	実施	実施	(公立) ・給食物資契約時には、地産地消の観点から選定を行っている	継続実施	保育幼稚園課
6		毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	市産品率 38.2% (H30実績 39.2%)	市産品率 40.7%	市産品率 38.5%	市産品率 40.5%	・「ひごまるデー」を中心に、市産品を活用した給食献立を実施すると共に、啓発資料を使って食に関する指導を行った	43%	健康教育課
	● 検証指標	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万 (H30実績 2,944百万)	2,962百万	3,125百万	3,292百万	・市内の農産物直売所の売上の情報把握に努めた	3,339百万	農水ブランド戦略室

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	● 市内の小学校に熊本市産焼海苔を提供し、海苔のPRを行った ⇒ 小学校3校に計2,600枚の焼海苔を配付し、非接触型の啓発活動として漁業者からのビデオメッセージを提供し、各クラス電子黒板で放映した。対象児童数2,309人	熊本市漁業後継者クラブ

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(3)くまもとの食文化の伝承	H30	R1	R2	R3	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑱	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	-	-	-	80%
取り組むべき施策	25) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の推進 26) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の促進						

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」に掲載し発信	実施	実施	実施	実施	・10種の郷土料理と、作り方の動画を掲載	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	実施	実施	実施	・レシピ集は、第1集～第4集まで作成し、家庭への啓発を行った	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	実施小中学校 100%	・「味の旅」を中心に、月に1回給食献立に郷土食、行事食を取り入れた	100%	健康教育課
4		豆だご等の郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	実施	実施	実施	・郷土料理や年中行事について、月ごとに行事食として提供	継続実施	保育幼稚園課
5	【再掲Ⅲ-(3)】保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	中止	中止	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	継続実施	保育幼稚園課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●「鯨肉の魅力」のPRと「鯨と食」に関する意識調査 ・NPO法人くまもと食農応援団の協力で、捕鯨や鯨の食文化に関するパネル展示や学食で「鯨カツ」「鯨汁」の提供及び意識調査を実施 	尚絅大学・尚絅大学短期大学部
2	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本の郷土料理啓発活動 ・熊本の郷土料理の啓発活動を実施した。熊本に古くから伝わる郷土料理22品について、地区ごとに分けてパネルを作成した。またその認知度についてオンラインアンケートを実施した ・熊本県の食材や郷土料理、食文化を学ぶ機会となった 	尚絅大学・尚絅大学短期大学部
3	<ul style="list-style-type: none"> ●郷土料理の動画の配信 ・辛子れんこんの作り方について動画作成のモデルとして出演し、熊本市YouTubeチャンネルに配信された 	熊本市食生活改善推進員協議会
4	<ul style="list-style-type: none"> ●四條中納言山蔭嫡流九州支部保存会庖丁式の実施：5月、10月、11月 地域の神社の大祭に於いて実施 ・平安時代から始まると伝えられる日本料理の流派。「庖丁式」とは料理に関する作法・故実や調理法などを最も頻用する調理器具の包丁で象徴した呼び名。庖丁と真魚箸(まなばし)のみを用いて、鯛などの素材に一切手を触れることなくさばっていくもので、各地の神事などで奉納される 	(一社)日本調理士協和庖真会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(4)食の循環や環境を意識した食育の推進	H30	R1	R2	R3	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標 項目	⑳ ① ② ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう 心がけている市民の割合					
	若い世代【20,30歳代】	74.6%	-	-	-	85%
	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	68.5%	-	-	-	75%
	②② 「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	80.7%	-	-	-	85%
		72店舗	86店舗	91店舗	101店舗	200店舗
取り組むべき 施策	27) 食育を通じた環境保全					
	28) 環境保全体験を通じた食育活動の推進					

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R3の取組・事業内容	R5目標値	担当課
1	環境にやさしい店の推進	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」と認定し広報	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	事業終了	社会全体の環境意識の向上等に伴い、レジ袋の削減等、小売店に求めている環境にやさしい行動については十分に定着したとして、令和2年度末をもって事業を終了した	増加	環境政策課 (温暖化・エネルギー対策室)
2	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	・水質汚濁防止法の規定に基づき、本市における地下水質の監視を行った	100%	水保全課
3	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 (台風のため中止)	参加人数 115人	中止	中止	・新型コロナウイルスの影響により活動休止	200人	水保全課
4	小学校への副読本の配布	小学4年生へ、社会科副読本として、ごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、配布	配付数 7,500人	配付数 7,500人	配付数 7,800人	配付数 7,600人	・R3年度も小学4年生へ、社会科副読本として、「ごみとリサイクル」を作成し、配付 ・植木地区版を作成し、植木地区の小学4年生にも配付	小学4年生 全員へ配布	ごみ減量推進課
5	生ごみ減量対策	食品ロス削減推進法を踏まえ、「生ごみにしない」、「出てしまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおき、生ごみ減量に取り組む (評価指数:新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数)	1,220人	1,247人	175人	156人	・R2年度に続き、生ごみ減量対策として行っていたエコレシピチャレンジ講座と段ボールコンポスト講座が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 ・生ごみ処理機・堆肥化容器の助成金を156人に交付した	対前年比 増加	ごみ減量推進課
6	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	参加人数 3,590人	参加人数 3,485人 (103回)	中止	中止	・新型コロナウイルスの検査を実施していたため、感染予防の観点からすべての学習会を中止した	増加	環境総合センター
7	環境にやさしい農業の推進	エコファーマー、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数 1,625	経営体数 1,365	経営体数 1,349	経営体数 1,324	・エコファーマー、有作くんの認定(認証)、更新の推進	2,090	農業支援課
	●検証指標	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	91店舗	101店舗	・R3年度も「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を募集し、新たに10店舗を登録した	200店舗	ごみ減量推進課